
じゃ、またね

仔猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じゃ、またね

【著者名】

Nコード

N7927Y

【作者名】

仔猫

【あらすじ】

予想をすれば世界はそれにより動き、僕の思考で全ては決定される。

僕はこの世界の神様です。

創めて（前書き）

始まりの文。

創めて

その世界には人間がいませんでした。

勿論、人がいないから町も街灯もありません。文明も言語も同じく存在しません。スイマセン。町も街灯もあるけどそれはもうそれが機能を酷使して世界の自然の一部になっています。文明や言語たちにも少し休んでもらつてます。よつて彼らは存在しているようで存在はしていないのです。

その世界には人間はいましたが、僕はその事実を隠しました。

世界はこれできっと平和と安らぎを得たのかな？

死神日記 1

もう何千回あの白い雲は通り過ぎていったのだろうか？

俺は死神。与えられた名は無い。

何も無い空間から神によつて生ざれた、死をつかさどる化身で、人間の死の直前に現れて、魂を刈り取る概念であり、それ以外は無い。自然の摂理の如く神の命令に従うだけで、人間のように俺らは個性を持たしていないし、性格も感情も無い。外見的特徴は全身を覆う黒い羽衣のみ。

もう何万回あの白い雲は通り過ぎていったのだろうか？

人は消えた。跡形も無く。

理由は分からぬが、多分神様がやつたのだろう。世界に下りていった時には朽ち果てた人類の産物が横たわるだけで、人の影はまるつきり無く、有るのは静寂のみ。

俺は死神だ。生きがいは人の魂を刈ること。しかし地上の何処にも人はいない。

ある日は寒さで凍える凍土を飛び、ある日は無限に広がる灼熱の砂漠を渡つた、劃しても目的の其れは見つからない。

飽きも疲れもない俺はただひたすらに地上を回る。それが己の性。

地上は植物と見たことも無い生物たちが、人の代わりにと各地で同じように見えた。どうやら自分の存在は何処にもないようだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7927y/>

じゃ、またね

2011年11月30日19時50分発行